

<b>Course title</b> <English>	臨床研究特論 I Clinical research advanced I	<b>Affiliated department, Job title, Name</b>	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, KAWAMURA TAKASHI		
<b>Grade allotted</b>	Professional degree students	<b>Number of credits</b>	1	<b>Course offered year/period</b>	2016/The first half of second semester
<b>Day/period</b>	月6	<b>Class style</b>	Lecture	<b>Language</b>	Japanese and English
<b>[Outline and Purpose of the Course]</b>					
(1) 臨床研究計画法I・IIで履修した研究方法について掘り下げる。 (2) 学生から疑問点を提示し、教員と学生がいっしょに検討する。 (3) 教員から研究方法上の問題点を提示し、学生が検討する。					
<b>[Course Goals]</b>					
各種研究方法について、その背景や考え方、利用の仕方や限界などについて研究事例に照らして深く理解する。					
<b>[Course Schedule and Contents]</b>					
(1) 誤分類と回帰希釈 (2) RCTにおけるP値 (3) プラセボ反応 (4) RCTによる副作用の検証 (5) 多変量解析の特性 (6) メタアナリシスの特性 (7) 患者スペクトル (8) 臨床的有意 (9) 疫学研究成果と臨床					
<b>[Class requirement]</b>					
・ MCRコース限定 (選択)					
<b>[Method, Point of view, and Attainment levels of Evaluation]</b>					
・ 意見発表の積極性、説明の明快さ					
<b>[Textbook]</b>					
Not used					
<b>[Reference books, etc.]</b>					
<b>(Reference books)</b>					
川村 孝 『臨床研究の教科書：研究デザインとデータ処理のポイント』 (医学書院) (臨床研究のデザイン、運営、解析、論文執筆の方法論とコツを解説)					
川村 孝 『エビデンスをつくる：陥りやすい臨床研究のピットフォール』 (医学書院) (臨床研究のデザインや解析の失敗談とその対策を紹介)					
Hulleyら 『医学的研究のデザイン』 (メディカル・サイエンス・インターナショナル)					
----- Continue to 臨床研究特論 I(2) ↓ ↓ ↓ ↓					

**臨床研究特論 Ⅰ(2)**

Motulsky 『数学いらずの医科統計学』（メディカル・サイエンス・インターナショナル）  
Kats 『医学的研究のための多変量解析』（メディカル・サイエンス・インターナショナル）

**[Regarding studies out of class (preparation and review)]**

・自らの研究に反映し、同僚の研究を支援する。

**(Others (office hour, etc.))**

臨床研究特論IIと連携する。

\*Please visit KULASIS to find out about office hours.